

都市再生整備計画（第7回変更）

おおてまえどお しゅうへん
大手前通り周辺地区

しまねけん まつえし
島根県 松江市

平成25年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	しまね 島根県	市町村名	まつえ 松江市	地区名	おおてまえどお 大手前通り周辺地区	面積	41.8 ha
計画期間	平成 20 年度 ~ 平成 24 年度	交付期間	平成 20 年度 ~ 平成 24 年度				

目標
<p>大目標：暮らす人が安心して暮らし続けられ、訪れる人が快適に往来できるまちづくり</p> <p>目標1 地区中心部における賑わいの創出</p> <p>目標2 歩いて暮らすための歩行環境の改善と地域コミュニティの活性化</p> <p>目標3 観光客の歩行安全性・快適性の確保</p> <p>目標4 総合病院の通院・来訪者の歩行安全性・快適性の確保</p>

目標設定の根拠
<p>まちづくりの経緯及び現況</p> <p>【歴史的経緯】 当該地区は、松江城の東隣にあり、江戸期から町人、武士の居住地となっていたが、明治以降には、旧藩施設や広い屋敷跡地のあった地区西側の殿町、母衣町を中心に官公庁や学校、病院などが立地し、商店街も形成された。また、地区東側の米子町、南田町は閑静な住宅地となるなど、県都としての付まいを次第に整え、その中枢となっていった。</p> <p>【地区の現況】 近年は、居住人口の流失と高齢化の進展、核店舗の地区外移転に伴う商店街の空洞舗化や平置き駐車場など低未利用地の増加など、地区の空洞化が進行し、急速な疲弊状況に陥っている。このような背景のもとで、快適で安全なまちへの再生、居住機能の充実を図り、賑わいと活力のある中心市街地を形成を目指して、再開発事業、総合病院の現地建て替え事業が進められている。</p> <p>【まちづくりの取り組みと機運】 地区内では、島根県が事業主体となり、(街)城山北公園線(大手前通り)の整備が進められており、これを機会に沿線の殿町、母衣町、米子町、南田町地区において、「まちづくりを考える会」が組織され、活動を続けている。また、北殿町地区においては、松江歴史館の整備にあわせ、これを核としたまちづくりについて、「北殿町まちづくり協議会」が組織され、議論がなされてきた。これにより地区内のまちづくりの機運は高い。都市計画道路城山北公園線(大手前通り)の計画にあわせて、沿線において周辺の街並みと調和した活気あるまちづくりを行なうことにより、中心市街地の活性化、居住・交流人口の拡大及び、良好な都市環境の形成を図ることを目標とした地区計画が策定され、都市計画決定(H19.3)されている。</p> <p>【上位計画との適合】 平成20年度認定の「松江市中心市街地活性化基本計画」では、当該地区の全域を中心市街地の区域内として各種施策が計画されている。本計画は、“土地区画整理事業、市街地再開発事業、道路、公園、駐車場等の公共の用に供する施設の整備その他の市街地の整備改善のための事業に関する事項”に具体的事業として記載されている。</p> <p>【住民との合意形成・官民連携】 本計画策定にあたり、H17年度に大手前通り沿線の住民を対象にアンケートを実施し、住民ニーズの把握を行った。その後、各町内の「まちづくりを考える会」に、このアンケートを元に検討した整備計画(案)を提示し、合意形成を図った。その後関係機関と調整を行い、再度「まちづくりを考える会」にて説明を行い、了解を得ている。</p>

課題
<p>【課題1】地区内の居住者及び賑わいの減少に歯止めがかかっていない。(居住人口と賑わいの減少) 地区内及び周辺には、県庁・県民会館等の主要な公益施設があるものの、地区内の居住人口の減少と高齢化の進展に加え、核施設であったデパートの移転などにより、急速に賑わいを失っている。</p> <p>【課題2】住宅地域の歩行安全性の確保、広幅員道路による地域コミュニティ分断に対する対策がされていない。(住宅地域の歩行環境の未整備と地域の分断化の懸念) 地区内は高齢化が進行しており、安心して安全に歩いて暮らせる環境が求められているが、地区内の生活道路は、車が主となっており、古い開渠も多いことから歩行者にとって安全な環境ではない。また、都市計画街路の整備によって生活道路が分断されることに伴い、地域コミュニティも分断され、地域に住む人々のつながりが薄れかねない。</p> <p>【課題3】観光施設周辺および移動経路の歩行安全性・快適性が確保されていない。(観光客の移動経路の歩行環境の未整備) 地区北西部に整備される新たな集客施設(松江歴史館、ホーランエンヤ伝承館)の整備に伴い、地区内の観光客等の増加が見込まれるが、施設周辺の道路の歩道は片側(堀側)のみであり、安全な歩行環境が確保されていない。また、地区南部の観光拠点であるカラコロ工房や堀川遊覧船乗船場まで繋がる移動経路の快適性が確保されていない。</p> <p>【課題4】核施設である総合病院への通院・来訪経路の歩行安全性・快適性が確保されていない。(総合病院周辺の歩行環境の未整備) 中心市街地の核施設のひとつである総合病院(松江赤十字病院)が改築されるが、通院・来訪者の主な経路となる市街地北部のバスターミナルである県民会館前バス停、市内の内循環線を形成する城山北公園線及び国道431号(地区内の幹線2路線)から病院までの歩道は、ともに狭小な上にアップダウンが多く、安全性・快適性が確保されていない。</p>

将来ビジョン(中長期)
<p>松江市総合計画(H19.9)</p> <p>松江市都市マスタープラン(H20.3)</p> <p>松江市中心市街地活性化基本計画(H20.7認定)</p> <p>松江市住宅マスタープラン(H19.2)</p> <p>松江市景観計画(H19.3)</p> <p>松江市観光振興プログラム(H19.3)</p> <p>松江市交通バリアフリー基本構想(H16.3)</p> <p>中心市街地における目指すべき市民生活の状態として、居住環境改善によるまちなか居住と商店地毎の特色あるまちづくりの推進を挙げている。</p> <p>本地区を、都市機能の集積した「中央地域」に位置付けており、「安全で快適な歩行環境の整備に努め、歩いて暮らせるまちづくり」を基本的方針のひとつとしている。</p> <p>中心市街地に対し、「まちなか居住」、「近隣集客拠点」、「観光・交流」の3つのコンセプトで施策を展開し、「住んでよし、訪れてよしの“松江らしい”まちづくり」を目指すこととしている。</p> <p>「定住人口の増加をめざす住まいづくり」、「まちなか居住の推進」として、中心市街地の居住者を増やすための住宅施策を挙げている。</p> <p>地区の一部を「普門院外濠地区」、「城山内濠地区」として後世の市民に継承されるべき伝統美観を保存すべき区域(伝統美観保存区域)に指定している。</p> <p>松江歴史館、ホーランエンヤ伝承館整備を契機として、松江城や武家屋敷等と連携したまち歩き観光の推進、周辺地域と一体となった町並み整備、交通規制導入による歩行環境向上などを挙げている。</p> <p>本地区を重点整備地区、その中でも主要な4地区のひとつに位置付けており、松江歴史館や総合病院周辺は準特定経路として歩道の段差解消などを実施することとしている。</p>

目標を定量化する指標								
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度	
地区中心部の来街者数	人	南殿町における平日(1日)と休日(1日)をあわせた歩行者・自転車通行量	地区内中心部の歩行者・自転車交通量の10%増を目指す。	2,127	H19年度	2,340	H24年度	
歩行環境満足度	%	地区内居住者の歩行環境の満足度(アンケートによる)	歩行安全性・快適性を高め、歩行者の歩行環境満足度を30%とすることを旨とする。	6	H19年度	30	H24年度	
惣門橋通りの歩行者数	人	北田大手前線(惣門橋通り)における平日(1日)と休日(1日)をあわせた歩行者通行量	観光客の誘導により、地区北部と地区南部・中心部間の往来者数の20%増を目指す。	1,151	H19年度	1,381	H24年度	
地区内主要道路のバリアフリー整備率	%	地区内の主要な県道・市道の歩道の段差、幅員、勾配についての整備率	総合病院周辺をはじめとした地区内の主要路線について、バリアフリー整備率を60%とすることを旨とする。	46	H19年度	60	H24年度	

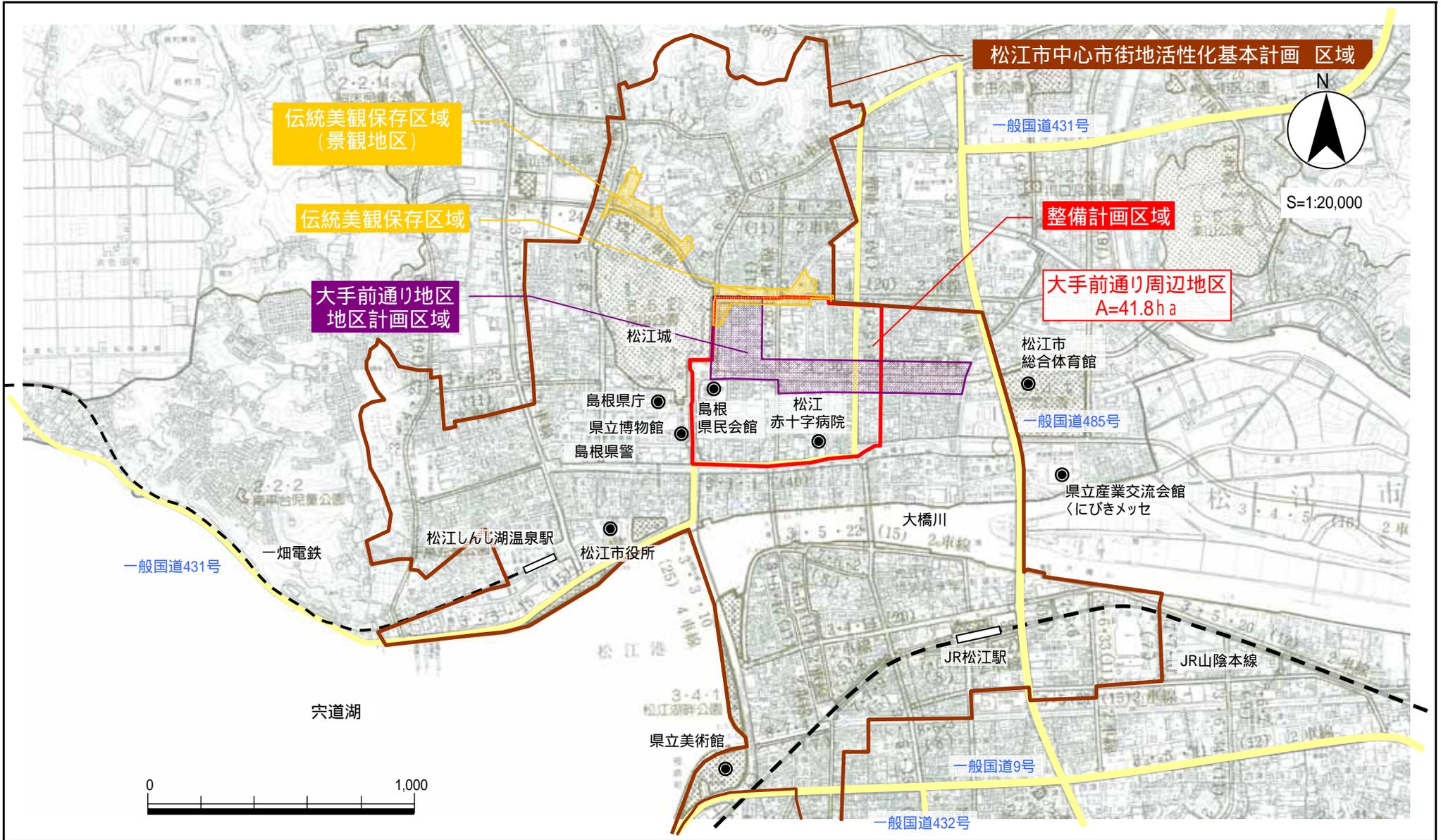
都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【整備方針1】賑わいの核となる施設を地区内で整備するとともに、周辺の歩行環境を整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区の核施設となっている総合病院の現地建て替えを支援する。 ・本市の観光拠点である松江城・塩見縄手と市街地をつなぐ位置に、新たな賑わいの拠点となる歴史資料館を整備する。 ・快適で安全なまちへの再生、居住機能の充実を図るとともに、賑わいと活力のある中心市街地を形成するため、市街地再開発事業を支援する。 ・中心市街地の交通の円滑化、東西連絡強化、防災拠点施設や避難場所を結ぶ緊急輸送路確保、並びに地区内の東西を結ぶ安全で快適な歩行空間の確保のため、都市計画街路を整備する。 ・これらの施設間を安全かつ快適に移動できる歩行環境を整備する。 ・360年の歴史を持つ船神事ホーランエンヤの継承とその魅力を広く伝える記念館施設の整備を行う。 	<p>関連事業（松江赤十字病院改築事業、松江歴史館整備事業、南殿町地区第1種市街地再開発事業、城山北公園線都市計画街路事業）</p> <p>道路（基幹事業 / (市)母衣町大橋川線、(市)米子町大橋川線、(市)米子殿町線、(市)北殿町1号線、(市)北殿町2号線）</p> <p>高質空間形成【緑化施設等】（基幹事業 / (市)北田大手前線、(市)母衣町大橋川線、(市)米子殿町線、(市)北殿町1号線、(市)北殿町2号線）</p> <p>地域創造支援事業（提案事業 / ホーランエンヤ伝承館整備）</p>
<p>【整備方針2】住宅地区内の歩行環境を整備するとともに、地域コミュニティの維持と活動を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区東部の住宅地区において、安心して安全に歩いて暮らせるまちづくりを目指した市道整備を行う。 ・広幅員の都市計画街路による地域コミュニティの分断が危惧されるため、歩行者の休憩の場として、また、身近な語らいの場（コミュニティ形成の場）としてポケットパークを整備する。 ・各町のまちづくりを考える会の活動の継続（景観づくり活動、防災まちづくり活動など）を支援する。 ・行政と住民との情報の共有化を図り、官民一体のまちづくりを推進する。 	<p>道路（基幹事業 / (市)米子町大橋川線）</p> <p>地域生活基盤【広場】（基幹事業 / みちの縁側 母衣町）</p> <p>高質空間形成施設【緑化施設等】（基幹事業 / 通り名標柱、照明施設）</p> <p>まちづくり活動推進事業（提案事業 / 大手前地区まちづくり推進事業）</p> <p>関連事業（城山北公園線都市計画街路事業、ポケットパーク整備事業）</p>
<p>【整備方針3】観光施設周辺の歩行環境と回遊ルートを整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松江歴史館周囲の市道について、観光客の安全性を向上させるため、歩行環境を整備する。 ・松江城エリアからカラコロエリア（計画地区南部）への観光回遊ルートを整備する。 ・来街者が、まち歩きの中で安心して休憩できるポケットパークを整備する。 ・北田大手前線（惣門橋通り）の歩行者の安全性・快適性の確保と周辺の住民生活への影響について調査・検討を行う。 	<p>高質空間形成【緑化施設等】（基幹事業 / (市)北田大手前線、(市)母衣町大橋川線、(市)米子殿町線、(市)北殿町1号線、(市)北殿町2号線）</p> <p>地域生活基盤【広場】（基幹事業 / みちの縁側 母衣町）</p> <p>事業活用調査（提案事業 / 惣門橋通り歩行環境向上調査）</p> <p>関連事業（松江歴史館整備事業）</p> <p>関連事業（観光案内板設置事業）</p> <p>関連事業（(市)殿町中央線舗装修繕事業）</p>
<p>【整備方針4】総合病院への経路のバリアフリー化を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・核施設である総合病院の通院・来訪者の安全性と快適性を向上させるため、総合病院と主要バス停及び主要幹線間の市道のバリアフリー化を進める。 	<p>道路（基幹事業 / (市)母衣町大橋川線、(市)米子殿町線）</p> <p>高質空間形成【緑化施設等】（基幹事業 / (市)母衣町大橋川線、(市)米子殿町線）</p> <p>関連事業（松江赤十字病院改築事業）</p>
<p>その他</p> <p>【事業完了後のまちづくり活動】【まちづくり組織の設置】</p> <p>大手前通り沿道の各町内には、H15年に設置された「まちづくりを考える会」があり、本計画による事業完了後においても、この会が中心となり、各町内のまちづくり及び大手前通り沿道全体を通しての賑わい創出を目指して活動していく。</p> <p>【維持管理形態】</p> <p>本計画で整備する施設のうち、ポケットパークについては、地区住民との協働により維持管理を行う。</p> <p>【事業執行体制】</p> <p>庁内においては、各事業および計画取りまとめ担当課で、事業間連携、工程管理を目的とした連絡調整会議を組織する。また、地域内においては、「まちづくりを考える会」が、行政との窓口役を担い、地区住民との意見調整を行っていく。</p> <p>【整備計画広報】</p> <p>まちづくり活動推進事業で定期的に機関紙「大手前通りまちづくりだより」を発行し、広報することとしている。</p>	

都市再生整備計画の区域

おおてまえどおりしゅうへん しまね まつえ
大手前通り周辺地区 (島根県松江市)

面積 41.8 ha 区域 松江市母衣町68番地ほか



大手前通り周辺地区(島根県松江市) 整備方針概要図

目標	暮らす人が安心して暮らし続けられ、訪れる人が快適に往来できるまちづくり	代表的な指標	地区中心部の来街者数	(人)	2,127	(19年度)	2,340	(24年度)
			歩行環境満足度	(%)	6	(19年度)	30	(24年度)
			惣門橋通りの歩行者数	(人)	1,151	(19年度)	1,381	(24年度)
			地区内主要道路のバリアフリー整備率	(%)	46	(19年度)	60	(24年度)

